



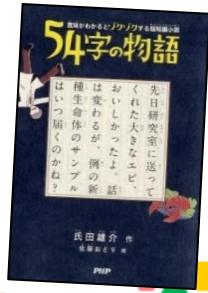
意味がわかるとゾクゾクする超短編小説

54字の物語

氏田雄介 作 佐藤おどり 絵 PHP 研究所

著者
コメント

54字の物語は、1話が54文字ぴったりの物語が90話収録された、意味がわかるとゾクゾクする超短編小説集です。……と、ここまででちょうど54文字です。この短い文字数の中にどれだけのストーリーを詰め込めるかに挑戦したのがこの本です。皆さんも挑戦してみてください！



埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2018



ブロードキャスト

湊かなえ KADOKAWA

著者
コメント

『ブロードキャスト』は十代の人たちに向けて書いた作品です。さまざまな悩みを抱えながら「放送部」でドラマ作りに奮闘する登場人物たちに、「放送部」でない方々も、自分を重ねながら読んでもらえると嬉しいです。



埼玉県の高校図書館司書が選んだ
イチオシ本 2018

埼玉県の高校図書館司書が選んだ

イチオシ本 2018



古生物のサイズが実感できる！
リアルサイズ古生物図鑑

土屋健, 群馬県立自然史博物館
技術評論社



そして、バトンは渡された

瀬尾まいこ
文藝春秋



みえるとか みえないとか

ヨシタケシンスケ, 伊藤亜紗
アリス館



黒板アート甲子園作品集
高校生たちの消えない想い

日学株式会社 総監修
日東書院本社



愛なき世界

三浦しをん
中央公論新社



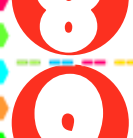
AI vs. 教科書が読めない子どもたち

新井紀子
東洋経済新報社



風に恋う

額賀滯
文藝春秋



青少年のための小説入門

久保寺健彦
集英社



意味がわかるとゾクゾクする超短編小説
54字の物語

氏田雄介, 佐藤おどり
PHP 研究所



ブロードキャスト

湊かなえ
KADOKAWA

埼玉県の高校図書館

司書が選んだ

イチオシ本 2018

ブックフェア



埼玉県高校図書館フェスティバル実行委員会
(高校司書有志)が、県内の高校図書館より
イチオシ本を募集しました。

2017年11月～2018年10月に発刊されたもので、
高校生にぜひおすすめしたい！と
熱く思う選りすぐりの本です。

埼玉県高校図書館フェスティバル実行委員会

埼玉県高校図書館フェスティバルHP

<http://shelf2011.net/>